

研究教育業績（過去 5 年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Kajiyama T., Arai K., Ohmuro S., Maruyama T., Shimose C., Makino S., Kokusen H., Adsorption of rare-earth metal ions on natural banana fiber, *J. Ion Exchange*, **29**(3), 116-120 (2018).

[総説]

[著書]

- 1) 荒井健介（分担），スタンダード薬学シリーズⅡ-9 薬学演習Ⅱ．基礎科学，東京化学同人，61-73, 130-135, 475 (2021).

[その他]

- 1) 荒井健介，シャープペン芯グラファイト描画電極の試作，日本薬科大学教育紀要，**5**, 47-50 (2020).
- 2) Arai K., Noguchi M., Yokota N., Sawamura Y., Tsuruya M., Amano T., Suga M., Development of electrochemical ELISA with a mechanical pencil lead electrode, *The Annual Report of Nihon Pharmaceutical University*, **4**, 25-28 (2018).
- 3) Kajiyama T., Arai K., Kokusen H., Adsorption of indium and gallium on natural banana fiber, *Proceedings of The 21st International Solvent Extraction Conference (ISEC 2017)*, 264-269 (2017).
- 4) Kajiyama T., Makino S., Takase S., Ohmuro S., Arai K., Kokusen H., Solid-phase extraction of Ga^{3+} and In^{3+} with a hexadentate chelating reagent, *Proceedings of The 21st International Solvent Extraction Conference (ISEC 2017)*, 278-283 (2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Mikuma T., Nakamura T., Usukura T., Ohmuro S., Arai K., Development of solid phase analytical derivatization for the analysis of drugs in human urine, International Research Conference on Pharmaceutical and Allied Sciences 2020, Kuala Lumpur, May (2020).
- 2) Kubota Y., Murahashi T., Arai K., Doi T., Anzai K., Humanism education utilizing active learning ～Problems of life and death in medical care～, 77th FIP World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Seoul, September (2017).

[国内学会]

一般発表

- 1) 木村優綺，大室智史，三熊敏靖，荒井健介，水溶性ポリマーを用いる紙製微小流路作成法の基礎検討，第 87 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 113 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 37 回合同シンポジウム，島根，6 月 (2020).

- 2) 池田双葉, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, 浮遊有機液滴の固化を伴う空気支援分散液液マイクロ抽出法を利用した尿中覚せい剤の分析法の開発, 第 87 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 113 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 37 回合同シンポジウム, 島根, 6 月 (2020).
- 3) 清水明日香, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, 尿中覚せい剤の現場予試験における DRIVEN-FLOW® の有効性の検討, 日本薬学会第 140 年会, 京都, 3 月 (2020).
- 4) 池田双葉, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, 浮遊有機液滴の固化を伴う空気支援分散液液マイクロ抽出法を利用した尿中覚せい剤の分析法の開発, 日本薬学会第 140 年会, 京都, 3 月 (2020).
- 5) 稲葉夏菜, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, イオン交換樹脂への複素環式化合物の保持機構の検討, 日本薬学会第 140 年会, 京都, 3 月 (2020).
- 6) 荒井健介, 川上時輝, 千葉皓絵, 石毛 雅, 大室智史, 三熊敏靖, ペン描画法による紙製微小流路電気化学センサーの作成と尿酸検出への応用, 日本分析化学会第 68 年会, 千葉, 9 月 (2019).
- 7) 石毛 雅, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, グラファイト描画電極上におけるヘキサシアニド鉄(II)酸カリウムの方波ボルタンメトリー, 第 32 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 西東京, 8 月 (2019).
- 8) 千葉皓絵, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, 透析膜で被覆したグラファイト描画電極の試作, 第 32 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 西東京, 8 月 (2019).
- 9) 中村太郎, 臼倉亜美, 大室智史, 三熊敏靖, 荒井健介, 固相担体上での誘導体化を利用した尿中薬物の分析法の検討, 第 32 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 西東京, 8 月 (2019).
- 10) 與儀晃大, 浅水優平, 後藤舞帆, 荒井健介, ペン描画法による紙製微小流路の作成と電気化学検出への応用, 第 86 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 110 回計測自動制御学会力学量計測部会 第 36 回合同シンポジウム, 京都, 6 月 (2019).
- 11) 丸山拓也, 牧田麻里子, 下畝千佳, 梶山哲人, 荒井健介, 大室智史, 國仙久雄, Dithizone を導入した樹脂による酸性溶液からの白金の吸着挙動, 第 31 回イオン交換セミナー, 東京, 9 月 (2018).
- 12) 後藤舞帆, 栗田正直, 本橋歩美, 若月華映, 浅水優平, 荒井健介, ペン描画法による紙製微小流路の作成と電気化学検出の試み, 第 31 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 福岡, 8 月 (2018).
- 13) 後藤舞帆, 栗田正直, 本橋歩美, 若月華映, 荒井健介, 簡易分析のための紙製微小流路の試作, 埼玉医療薬学懇話会第 38 回学術研究講演会, 伊奈, 7 月 (2018).
- 14) 栗田正直, 本橋歩美, 若月華映, 荒井健介, ペン描画方式による紙製微小流路の試作, 第 85 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 107 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 36 回合同シンポジウム, 八王子, 6 月 (2018).
- 15) 久保田洋子, 村橋 毅, 土井孝良, 荒井健介, 樋口敏幸, 安西和紀, ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題～アクティブラーニングの導入と評価～, 日本薬学会第 138 年会, 金沢, 3 月 (2018).
- 16) 荒井健介, グラファイト描画電極の開発 –POCT への応用を目指して–, 日薬研究会, 伊奈町, 9 月 (2017).
- 17) 有馬竜斗, 荒井健介, ボルタモグラム形状に及ぼすシャープペンシル芯グラファイト描画電極の面積の影響, 第 84 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 104 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 35 回合同シンポジウム, 吹田, 6 月 (2017).

- 18) 有馬竜斗, 荒井健介, シャープペンシル芯グラファイト描画電極の面積の影響, 日本薬学会第 137 年会, 仙台, 3 月 (2017).
- 19) 市川雄斗, 荒井健介, イオン移動ストリッピングボルタンメトリーによるイオン濃縮効果の検討, 日本薬学会第 137 年会, 仙台, 3 月 (2017).
- 20) 仙田貴也, 梶山哲人, 國仙久雄, 荒井健介, インジウムのサイクリックボルタモグラムに及ぼす酸及び作用電極の種類の影響, 日本薬学会第 137 年会, 仙台, 3 月 (2017).

3. その他特筆すべき研究業績

[受賞]

- 1) ベストポスタープレゼンテーション賞, 第 85 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会・第 107 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 35 回合同シンポジウム, 八王子, 6 月 (2018).

[助成金]

- 1) 荒井健介 (代表), 日本薬科大学学術研究助成, ペン描画法で作成した紙製微小流路を用いる生体関連物質定量に向けた条件検討, 150 千円 (2019).
- 2) 荒井健介 (代表), 日本薬科大学学術研究助成, ペン描画法による紙製微小流路の作成, 400 千円 (2018).
- 3) 荒井健介 (代表), 日本薬科大学学術研究助成, シャープペンシル芯グラファイト描画電極の薬学分野への応用, 200 千円 (2017).

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2021 年度

- 1) 分析化学の基礎と酸塩基平衡 (1 年)
- 2) 容量分析法 (2 年)
- 3) 物理・分析化学実習 (2 年)
- 4) 患者の安全と薬害防止 (10 コマ) (3 年)
- 5) 薬学特論 I (2 コマ分担) (1 年)
- 6) 薬学総合演習 I A (1 コマ分担) (4 年)
- 7) 薬学総合演習 I B (2 コマ分担) (4 年)
- 8) 薬学総合演習 II (2 コマ分担) (6 年)

2020 年度

- 1) 分析化学の基礎と酸塩基平衡 (1 年)
- 2) 容量分析法 (2 年)
- 3) 物理・分析化学実習 (2 年)
- 4) 患者の安全と薬害防止 (10 コマ) (3 年)
- 5) 薬学特論 I (2 コマ分担) (1 年)
- 6) 薬学総合演習 I A (1 コマ分担) (4 年)

7) 薬学総合演習 I B (1 コマ分担) (4 年)

8) 薬学総合演習 II (2 コマ分担) (6 年)

2019 年度

1) 分析化学の基礎と酸塩基平衡 (1 年)

2) 容量分析法 (2 年)

3) 物理・分析化学実習 (2 年)

4) 患者の安全と薬害防止 (6 コマ分担) (3 年)

5) 薬学特論 I (2 コマ分担) (1 年)

6) 薬学総合演習 I A (1 コマ分担) (4 年)

7) 薬学総合演習 I B (1 コマ分担) (4 年)

8) 薬学総合演習 II (3 コマ分担) (6 年)

2018 年度

1) 分析化学の基礎と酸塩基平衡 (1 年)

2) 容量分析法 (2 年)

3) 物理・分析化学実習 (2 年)

4) 薬学特論 I (1 コマ分担) (1 年)

5) 薬学総合演習 I A (2 コマ分担) (4 年)

6) 薬学総合演習 II (3 コマ分担) (6 年)

2017 年度

1) 分析化学の基礎と酸塩基平衡 (1 年)

2) 構造解析と薬学応用分析 (3 年)

3) 基礎科学実習 (1 年)

4) 物理・分析化学実習 (2 年)

5) 応用薬学実習 (3 年)

6) 薬学特論 I (1 コマ分担) (1 年)

7) 薬学特論 III A (5 コマ分担) (3 年)

8) 薬学総合演習 I A (4 コマ分担) (4 年)

9) 総合薬学勉強会 (6 コマ分担) (5 年)

10) 薬学総合演習 II (3 コマ分担) (6 年)

2. その他特筆すべき教育業績

1) 薬物乱用防止講演会, 昌平高等学校, 4 月 (2021).

2) 薬物乱用防止講演会, 川越西高等学校, 1 月 (2021).

3) 薬物乱用防止講演会, 桐ヶ丘高等学校, 8 月 (2020).

4) 薬物乱用防止講演会, 埼玉県立いずみ高等学校, 3 月 (2019).